

丹波市教育大綱

未来へつなぐ教育

(令和2年度～令和6年度)

この大綱は、丹波市が取り組む教育施策の基本方針を示したもので、次の4項目を重点施策として掲げます。

1 ふるさとに愛着と誇りを

- (1) 丹波市市民憲章に謳^{うた}われた「おかえり文化」を再確認し継承する。
- (2) 地域を支え・創る「まちの幸福論」を語り「持続可能なふるさと」の実現に寄与する。
- (3) 常に夢と希望を持ちつづけ、バックキャスティング※1で思考することを心がける。
- (4) 学校給食は、「地産地消」「身土不二※2」の精神で旬の地場野菜を使う。

※1 バックキャスティング 未来のある時点に目標を設定しておき、そこから振り返って現在すべきことを考える方法。

※2 身土不二 人間の身体と土地は切り離せない関係にあるということ。

2 大きな時代の流れを鋭敏にキャッチ

- (1) ICTによる技術革新、プログラミング教育※3の実施に向けて質の高い環境を整備する。
- (2) 人生100年時代と少子化に向き合い、社会全体・地域ぐるみで教育力を高める。
- (3) 教育こそSDGs※4の基礎であり、全てのSDGsは教育に期待している。

※3 プログラミング教育 令和2年度から小学校で必修化される教育。児童は、プログラミングを体験しながら、論理的思考力を身に付ける。

※4 SDGs 2015年に国連において全会一致で採択された「持続可能な開発目標」。SDGsは、「Sustainable Development Goals」の略。

3 安心して学べる居場所づくり

- (1) 特別支援、いじめ、不登校に寄り添い、地域と共に学ぶ「インクルーシブ教育※5」を進める。
- (2) これから進展する見込みの多文化共生社会に「多様性と寛容性」の精神で臨む。
- (3) 多様化する人権課題の解決に向けて、市民の主体的な人権学習の機会を支援する。

※5 インクルーシブ教育 身体障がいや知的障がいなど、障がいの有無に関係なく誰でも地域の学校で学べるような教育のこと。

4 生涯を通じて「学び」「活躍する」市民を増やす

- (1) 真の「住民自治」の精神を育み、主体的に地域づくりに参加する。
- (2) すべての世代において「知識循環型生涯学習」を実現し、「生きる力」を育む。
- (3) 一人ひとりがキャリア形成と自己実現を目指し「生きがい」を持つ。
- (4) 文化・芸術・スポーツを通じ、心身の健康を保ち、こころ豊かな市民生活を創り出す。



雲海に包まれた国指定史跡黒井城跡

